

## 広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第2回運営委員会 会議録

日 時 平成25年11月12日(火) 15時00分～16時30分

場 所 まちづくり市民交流プラザ 南棟4階協議室

出席者 (委員) 波多野委員長、柿本委員、中島委員、東委員、弘中委員  
(プラザ) 田村館長、樋口

### 議事及び会議要旨

#### 議事1. 平成25年度まちづくり市民交流プラザ事業について(進捗状況の報告)

事務局から、まちづくり市民交流プラザ事業の10月末現在の進捗状況の報告と11月以降の実施計画の説明を行い、各種事業について意見が交わされた。

- ・市民活動成果発表事業だが、「アートルネッサンス」は非常にいい事業である。
- ・広報ちらしはどれも上手く作成されているように思う。
- ・以前、まちづくり学校の修了生に対するサポートがうまくいかないとの話があったが、現在はうまくサポートできているようだ。修了生の追跡調査は必要である。
- ・障害者や高齢者が参加しやすい施設環境を整えていく必要がある。
- 展示事業などに障害者や高齢者が多数来場されていることもあるので、施設設備の整備には意を用いていきたい。
- ・障害者や高齢者を念頭においた施設運営は大切である。
- ・託児はどのような事業で実施しているのか。あまり該当する事業がないようだが、このサービスをもっと拡大したらどうか。
- 主にパソコン講座だが、先月NPOとの連携により「パパは今日からイクメンジャー」という事業を実施し託児を行った。
- ・子育て世代の利用を大切にすることが必要である。
- ・稼働率についてだが、プラザはなかなか予約ができないとの声を聞く。使用したくても使えない状況である。曜日による使用の偏りはないのか。比較的空いている曜日がわかれば、そこを予約するよう伝えることもできる。稼働率の低い部屋は閑散期を把握してもっとPRを。
- ・プラザは小部屋がないので使いにくい。大きな部屋をパーティションで仕切ることができればいいのだが。
- ・相談会事業について、余暇活用相談会は中高年の人生設計そのものについての相談が増えている。余暇活用ではなくライフプランとネーミングを変えていく必要があるように感じる。
- ・生涯学習相談会でも、学習相談以前の問題を抱えて相談に来る人が増えている。人生相談の場を求めている人が増えているようだ。
- ・中高年の引きこもり、介護の悩みなどが増えており、余暇や生涯学習相談会にこうした人たちが相談にきた場合は対応しきれていない。
- 専門性が求められる相談内容に対しては、専門機関を紹介・誘導していくのが適当ではないか。
- ・フリースペースだが、前回までの色々な課題があがっていたが、現在の状況はどうか。
- 2階の利用マナーも徐々に改善されてきているようだ。個人利用と団体利用の共存という点も

少しずつだが浸透してきているように思う。

- ・資料・図書コーナーだが、利用している人を見ない。資料が古いこともあり、本当に必要なのか。
- プラザとしては、指定管理事業として市から提示を受けて運営しているもの。新しい図書を購入する予算はないので、プラザに寄贈された書籍等を閲覧できるようにしている。
- ・企業団体連携事業はよい取り組みをしているので、今後も充実させるとよいのではないか。
- ・情報誌「らしっく」は特集テーマがあり、タイムリーな話題を取り上げているのがよい。
- ・プラザメイトについてだが、講座の受講者でメールアドレスの情報提供があった人にはプラザメイトに登録してもらってはどうか。登録数が増えるうえ、メールを活用して広報を行えば経費の削減にもなる。
- ・プログラム開発事業のように公民館との連携はよいことなので、もっと多くの公民館と連携できればよい。

## 議事 2. まちづくり市民交流プラザの管理・運営について

事務局から、ゆったりトイレの温水便座及びウォシュレット整備、来年度からの施設命名権の募集等について情報提供し、意見が交わされた。

- ・トイレにウォシュレット機能を整備するのは必要なこと。高齢者は和式トイレは使用しづらく、洋式トイレを好むと聞く。

## 議事 3. その他について

- ・次回の運営委員会は、平成26年2月12日（水）午後3時からの開催とする。

閉会